



富山県

甘ガキ品種「太豊(たいほう)」の特性

富山県農林水産総合技術センター 園芸研究所 果樹研究センター

1. 背景とねらい

富山県における甘ガキ栽培は、9～10月収穫の早生～中生品種が中心であり、本県の甘ガキ販売期間の拡大を推進するためには、本県に適した魅力ある晩生品種を導入し、多様化する消費者ニーズに応えることが重要です。

「太豊」は、(国開)農研機構で育成され、「富有」に代わる晩生品種として、本県における甘ガキの新たな需要が期待できることから、本県における品質・栽培特性を明らかにしました。

2. 成果の内容

「太豊」の特性

- ・収穫期は「富有」とほぼ同時期であり、収穫始期は11月15日で「富有」より2日遅く、収穫盛期は11月21日で「富有」より1日早い収穫です(表および図1)。
- ・「富有」よりも収量が多く、果実重は336g程度で「富有」より大きくなります(表)。
- ・硬度は1.4kg、糖度は16.1Brix%程度、果肉は「太秋」に近いサクサクとした食感で、果汁が多く、食味は良好です(表)。
- ・果実の形状は腰高の扁円形です(図2および図3)。へたすきは「富有」より少なく、果頂裂果や条紋は生じません。

表 「太豊」の生育特性、果実品質

品種名	樹勢	展葉期 (月/日)	開花期			収穫期			玉揃い
			始期	盛期	始期	盛期	終期		
太豊	中～や強	4/14	5/26	5/28	11/15	11/21	11/23	良	
富有	中	4/16	5/28	5/29	11/13	11/22	11/23	良	

品種名	収量 (kg/樹)	果実重 (g)	果皮色カラーチャート ²			糖度 (Brix%)	硬度 (kg)	含核数	へた ¹ すき
			果頂部	赤道部	果底部				
太豊	41	336	5.0	4.5	4.5	16.1	1.4	0.9	0.6
富有	23	293	5.2	4.8	4.7	15.3	2.0	4.0	1.4



図2 「太豊」の外観



図3「太豊」の果実
(受粉樹が周囲にある場合)

出典：農研機構HPプレスリリース
「食味が結実性が良好なカキ新品种「太豊(たいほう)」

※2013～2018年の平均値。「太豊」高接ぎ10年生、「富有」11年生(2018年時点)。

²果皮色は「富有」用カラーチャートによる評価。

¹0:無。1(微):外観からは判別できない程度、へたすきによる色むらがない。2(少):外観から少し見えるか、へたすきによる色むらがあるもののうち、優品として出荷できるもの。3(大):はっきりしたへたすきがあり良品または格外と判断されるもの。

10月			11月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
早秋			陽豊	太豊	
	甘秋			富有	
		太秋			

図1 「太豊」と主な甘ガキ品種の収穫期(イメージ)

3. 成果の活用

収穫期が11月中～下旬で「富有」とほぼ同時期であり、「富有」よりも良食味であることから、「富有」に代わる晩生品種として、早生～晩生まで甘ガキのリレー栽培が可能となり、販売期間を拡大できます。